

特別活動指導案

- 1 題材名 もっと なかよしになろう
- 2 指導にあたって

本学級に在籍する児童の交流学級は、2年生13人の学級である。そのほとんどの児童が、就学前3年間を地域の保育所で共に過ごし、本児のことについても理解し、それぞれが関わり合って学校生活を送っている。周りの児童たちが本児について「知りたいと思っていること」「わからないこと」、本児との関わりの中で「考えていること」などについて常に情報を交換しながら、体調や学習の様子を知らせたり、互いの成長を確認し合ったりしながら、よりよい人間関係作りをめざしていきたいと考えている。

1年生の入学時には、「A児の病気のこと」「たんぼぼ学級のこと」「学校生活の中で助けてほしいこと」など、学校生活をスタートするにあたって共通理解してほしいことを、1時間ずつ時間を取ってもらい全学年の児童に聞いてもらった。1年間関わりを深める中で、交流学級の児童たちからは、「Aちゃんの病院ってどこにあるん?」「訓練で何するん?」「Aちゃんってお家で何して遊んどるん?」などと学校生活以外の場について疑問を抱き、機会があるごとに聞いてくることが増えてきた。今回は、児童の質問に答える場面も設定し、保護者の協力を得ながら、日頃の生活の様子や生まれてからこれまでの様子、また、病院や訓練のことなどについてもふれてみたい。

3 本時の活動

- (1) ねらい 本学級児童の日常の様子を知らせ、交流学級の友だちの理解を図る。
- (2) 準備 ビデオ、写真、カード、学級便り
- (3) 展開

配時	学習活動	学習内容
10	1. たんぼぼでの様子	※事前に交流学級の友だちに質問を書いてもらい、それに答える形式をとる。 ・ 学級便りや作品を紹介する。 ・ ビデオに撮った学習中の様子を見せる。
10	2. 小さいころの様子	・ 生まれた頃のこと、保育所でみんなと出会う前の様子について、お母さんから話を聞く。 ・ 写真などを見せてもらう。
10	3. 家での様子	・ 学校が終わって家に帰ってからの様子や、お休みの日の様子について、お母さんから話を聞く。 ・ 本児の好きなことや好きなものを知る。
5	4. もっと知りたいこと	・ 話を聞いて疑問に思ったこと、もっと知りたいと思ったことを質問してもらう。 ・ 本児と担任とお母さんで質問に答える。
10	5. お手紙を書こう	・ 授業の感想も含めて、本児にお手紙を書いてもらう。 ・ 時間があったら、何人かの分を紹介する。